Looop電池

企業名	株式会社Looop		
所在地	東京都文京区	資本金	708百万円
設立	2011年4月	従業員数	約200名
コア技術	電力需給管理システム／AIを使用しての蓄電池の自動制御ロジック		

開発製品／技術の概要

以下の4点が1セットとなった、**一般家庭向け蓄電池システム**となる。
①蓄電池　／　②太陽光発電連系可能パワコン　／　③通信コントローラー　／　④モニター

特徴・ポイント

①蓄電池は自社で製造しており、価格は業界最安値の水準
蓄電容量4kWh（定格）で、希望小売価格は898,000円（税別）となり、大手メーカの1/3～半分の価格設定をしている。
②AI活用で、最適な電気代となるよう、充放電を最適制御
通信コントローラーのSIMカードがサーバーと通信を行う事で、最適な電気代となるように充放電を遠隔で自動制御する。なお、蓄電容量は定格で4kWhだが、AI活用による最適制御で実質的には6～7kWhの利用が可能になっている。
③電力小売りとの併用で、電気代を大幅に下げることも可能
同社では電力小売りも手掛けているため、安いタイミングで電気を仕入れて、それを蓄電しておくという使い方もでき、電気代を大幅に下げることができる。

主な実績

システム完成をうけて、2017年9月4日に本件システムに関するプレスリリースを出して以降、既に数十台の受注を獲得。月間十台以上販売する代理店も出てきている。

マッチング先への要望など

マッチング先として希望する業種／業界	連携することで想定される利点
工務店 太陽光販売の専門会社 建材商社	①他社品と比較して差別化が図られているシステムと自負しているので、競争力がある商材を新たに増やす事が可能になる。 ②同社は電力小売りも手掛けているため、システムを販売した後もコミッションFEEが定期的な報酬として発生する場合もある。 ③施工面は同社が対応することも可能

NEDO事業の概要

・再生可能エネルギーの普及に向けて蓄電池はかかせないものとなる。同社が元々手掛けていた電力小売り事業とシナジーを生む蓄電池の高度制御により、経済性を高め、蓄電池の普及に寄与する事を狙いとして、「蓄電池制御の高度利用研究開発」をテーマとして事業化に取り組んだ。
・結果、製品は完成し、現在は電気代を20～30%削減する事を目標に、実証に取り組んでいる。